

変数や関数の命名文法

Kazuhisa Togo

前提知識

動詞

\$verify = true;

動詞

意味: \$検証を行うか = true

=> これから行うこと

動詞 = 動作

形容詞

\$verified = true;

形容 (過去分詞)

意味: \$検証済み = true

=> 現在の状態

形容 = 状態

助動詞と形容詞

\$isVerified = true;

Be 形容 (過去分詞)

前ページと同じこと

慣習的にBooleanが入ることが分かりやすい

もうひとつの形容の用法

\$registeredName = “John”;

形容 (過去分詞) 名詞

意味: \$登録済みの名前 = “John”

=> 値 (identity) が入る

直感的に、状態は示さない

では状態を示すにはどうするか

\$isRegisteredName = “John”;

Be 修飾された名詞

意味: \$登録済みの名前である = true

=> 状態を指す

Be動詞で明確にBooleanであることを示せる

实例

アニメーションについて示す変数

```
$animate      = true;    // アニメーションする  
$doesAnimate  = true;    // おなじ  
$hasAnimation = true;    // アニメーションを持ってる  
$isAnimating  = true;    // 今アニメーションしてる  
$didAnimate   = true;    // アニメーションした (iOS風)  
$animated     = true;    // 同じ  
$isAnimation  = true;    // これはアニメーションです
```

Be動詞の使い方

`$isAnimate;` // NG; 動詞+動詞なので誤り
`$isAnimation;` // OK; 「これはアニメーションです」
`$isAnimating;` // OK; 現在進行形 = 「アニメーション中」
`$isAnimated;` // 受動態に見えてちょっと違和感
`$isAnimatedGif;` // OK; Gifを修飾 「アニメーションGIFです」

基本的には値はboolのイメージ

Be動詞で値の種類を明確に

```
$blue;      // 青色の定義っぽい  
$flying;    // 飛んでいるという状態っぽい  
$created;   // 作成日？それとも状態？
```

↑変数名から中身が想像しづらい、バラバラ。

```
$isWhite      = true; // 「白色です」  
$isPublished  = true; // 「公開済みです」  
$isBookRead  = true; // 「本は既読です」
```

↑ Bookの過去分詞。読みはレッド

助動詞で状態を示す

```
$isAjax          = true; // Ajaxのとき  
$hasAnimation    = true; // アニメーションがある  
$doesNothing     = true; // 「何もしない」  
$canRollback     = true; // ロールバックできる  
$willInvoke      = true; // インボークする  
$mustFail        = true; // 失敗を期待（テストなど）
```

助動詞系は基本的にbool値をイメージできる

関数

関数名は動詞・助動詞から始めると良い

```
$obj->name();      // setterなの? getterなの?  
$obj->deleted();   // setter? 返り値はboolean? 日付?
```

↑動作が把握しづらい

```
$obj->getName();      // getterであることが明確  
$obj->setDeleted(true); // 削除フラグと分かる  
$obj->isDeleted();    // booleanが返る  
$obj->getDeletedOn(); // 削除日
```

ほかにも：

```
$obj->update();      // 「更新する」  
$obj->isUpdated();   // 「更新済み」、最新かどうかは？  
$obj->isLatest();    // 「最新」  
$obj->isUpToDate();  // 同じ意味
```

動詞から始まっているので処理がわかりやすい